

## 事例 14

### タイトル：ほぼ毎日、「子供が迎えに来る」と言って玄関に朝からずっと張り付く

#### ・ <事例の状況>

Aさんは、ほぼ毎朝、「子供が迎えに来る。」「子供から連絡があったので帰る。」と言ってはエレベーターで1階まで車椅子を自操し、玄関口でじっとしている。入浴の時間や昼食の時間などで職員が声をかけるが、その都度甲高い叫び声をあげて拒否する。また、食事を玄関に持っていても同様の反応をする。どの職員が声をかけても同じであり、興奮状態が続くと歩き出して硝子戸を物でバンバン叩くので、最近は職員も刺激を与えないようにそっとしている。夕方になって自室に戻ることもあるが、調子が悪いときは一晩中玄関口で過ごすことがある。無理強いしても結局はまた戻ってくるので、より興奮させるだけで逆効果でもある。エレベーターや玄関は共有空間であり、制限することもできず、職員の課題となっている。

#### ・ <この事例で課題と感じている点>

食事、排泄、入浴、服薬の拒否があり、どのように声かけしても大声で怒りだし、時には手をあげる。また、玄関口にいるため、皆が自由に玄関を使えない（外に出てしまうため）。

#### ・ <キーワード>

帰宅を訴える。声かけに対して興奮して大声を出す。暴力を振るう。食事、排泄、入浴、服薬を拒否する。無理に立ち上がり転ぶ。眠らない。

#### ・ <事例概要>

【年齢】 90代前半

【性別】 女性

【職歴】 飲食業

【家族構成】 一人暮らし

【認知機能】 MMSE 15点

【要介護状態区分】 要介護4

【認知症高齢者の日常生活自立度】 a

【既往歴】 脳梗塞 肺炎

【現病】 認知症（びまん性レビー小体病の疑い） 狭心症 変形性膝関節症

【服用薬】 セロクラルール・パントシン・酸化マグネシウム・ガスターD・コントミン散・フランドルテープ・屯用マイスリー

【コミュニケーション能力】 言語ははっきりしているが、耳が遠い。時々幻聴や幻覚があり、つじつまが合わないことがある。また、そのことを指摘されると激怒する。

【性格・気質】 社交的。思い込みが強い。

【ADL】 移動は車いすで自操し、移乗は自立。排泄はトイレ誘導。入浴は歩浴で一部介助。衣服の着脱は一部介助。食事は自立。

【障害老人自立度】 B1

【生きがい・趣味】 カラオケ 飲酒（日本酒）

【生活歴】 学校卒業後、家の手伝いを経て結婚。夫他界後無年金の為、生活保護受給となった。脳梗塞や膝関節症等により徐々に介護が必要となった。認知症の症状も出現し、3年程前より近所に迷惑もかけるようになり、自宅での一人暮らしが困難との理由で、2年程前に入所した。近郊に住む子供が時々身の回りの世話をしていた。

【人間関係】 社交的な性格である為に、他利用者に対しては愛想が良い。ただし、耳が遠い為にあまり積極的に関わったりはしない。また、特定の関わる人もいない。

子供の面会はほとんど無く、施設に来て「本人に会うと、帰ると言い出すから。」と言って、会わずに利用費の支払いだけをしていく。以前住んでいた地区の民生委員が、月に1回程度面会する以外は、ほとんど面会もない。

【本人の意向】 子供と一緒に暮らしたい。

【事例の発生場所】 特別養護老人ホーム